

ひろげよう 大地うるおす 植樹の輪

～平成24年度東通村植樹祭～

6月2日(土)、平成24年度東通村植樹祭が、尻労共有林内で行われ、ボーイスカウト東通第1団、村内各漁業協同組合長、東北電力、東京電力のほか、関係者やボランティアの方々と約220名が参加しました。

この植樹祭は、森林保護と森林が作り出す水の循環による豊かな漁場造りを目的に東通村緑化推進委員会(越善靖夫会長)が平成13年度から毎年実施しているもので、今回で12回目になります。今回の植樹会場である尻労共有林は、土地所有者の尻労共有会(小笠原清春会長、会員33名)から場所をご提供いただき実施いたしました。

植樹に先立ち、越善会長より「今回植樹するこの場所は、眼下に尻労漁港と太平洋を望む、森と海のつながりをより感じることのできる場所です。豊かな森を造ることは、栄養分を多く含んだ水が川を通じて海へ流れ、豊かな漁場を造ることにつながり、この緑豊かな森を守

り美しい東通村を後世に残すことが私達の責務であると思っております」と挨拶があり、続いて来賓の方々を代表して下北森林管理署丹藤卓司署長から祝辞が述べられました。

植樹祭では、来賓の方々によるソメイヨシノ13本の記念植樹と、参加者全員によるコナラ、クヌギ、ヤマモミジ、ブナ、トチ、ミズナラの6種類の苗木600本が植えられました。

参加者の皆さんは、緑あふれる森林の維持・再生を願いながら丁寧に植樹し、最後に越善会長と子ども達の手で記念標柱が建てられました。

私たちの暮らしを支え、豊かな森を守っていくため、今後も「育てる活動」に積極的に取り組んでいきます。



挨拶をする越善会長



たくさんの方が植樹祭に参加し、立派な木に育つよう願いを込めて植樹しました

永年の活動功績に表彰

～東通村自衛隊父兄会～

去る5月27日(日)、第54回全国自衛隊父兄会青森県支部連合会定期総会において、東通村自衛隊父兄会の監事 相内 稔さん(白糠)が、永年にわたる自衛隊父兄会の発展育成に努めた功績が認められ、青森県自衛隊父兄会長より表彰状が授与されました。大変おめでとうございます。

◎自衛隊父兄会とは…

子どもを自衛隊員にもつ父兄及び本会の趣旨に賛同する有志で結成された組織であり、自衛隊員の激励、隊員募集活動への協力など、様々な活動を通して、自衛隊員を支えています。



表彰された相内 稔さん